

平成19年度 事業報告書

平成19年 7月 1日から 平成19年 12月 31日まで

特定非営利活動法人 アジア教育友好協会

1 事業の成果

当法人の前身である任意団体にて行っていた学校建設事業、地域自立支援事業及び姉妹校提携促進事業を引継ぎ、平成19年7月1日にNPO法人として事業を開始しました。

活動資金としては任意団体から引き継いだ33,238千円に加え、AEFA友の会会員・財団・団体・企業・個人支援者から10,438千円の助成金・支援金を受け、合計で43,677千円の収入となりました。

建設事業においては、ベトナムに9校、ラオスに6校の学校建設に着手しました。このうち14校は当期中に建設が完了しております。残る1校は平成20年3月竣工予定です。

地域自立支援事業においては、主として学校菜園、マッシュルーム栽培、鶏や山羊の飼育、建設と並行して造成した池での鯉の飼育などのトウグアイ、指導を通じ、地域の自立を支援しています。

姉妹校提携推進事業としては、建設が完了した14校に対し、日本の小学校生徒の国際理解教育の具体的行動としてフレンドシップ交流を推進して参りました。当法人のスタッフ自らが現地の子供たちの声を届け、ビデオや写真でその生活の実態を伝えるなど、活きた交流にすべく出前授業も行っています。

支援者組織「友の会」（賛助会員）も徐々に広がりを見せ、個人会員83名、法人会員は7社となりました。

活動の質の向上に必要な助成金・支援金は、法人認証を受けたことから、公的信頼度も増し、様々な団体の助成金制度適用資格ともなったことが大きく寄与したものです。こうした資金を活用し、ベトナムの学校関係者招待、上記した出前授業など新しい交流事業の展開が出来ました。

広報面では、一般紙、地域メディアとのコンタクトにも注力し、日本の新聞に12回、ラオス/ベトナム両国の新聞に各1回、活動が取り上げられています。

また、ラオスの生活紹介DVDが外務省の国際理解教育コンクールで教材部門賞を受賞。日本財団では第2回ブログ大賞を獲得しました。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
学校建設事業	ベトナム・ラオス・タイ山岳極貧地域の学校建設	2007.7.1～ 2007.12.31	2カ国 15校	5名	建設地域の住民およびその子弟。 1地域500名程度	32,172
地域自立支援事業	上記学校建設地域の学校維持を主旨とした生活力向上の為の支援	2007.7.1～ 2007.12.31	2カ国 15地域	5名	建設地域の住民およびその子弟。 1地域500名程度	2,053
日本の学校との姉妹校提携推進事業	(1) 現地建設校と日本の学校との教育関係者同志の交流、児童の作品交換などを通じての姉妹校提携推進	2007.7.1～ 2007.12.31	2カ国 14校	5名	現地1校当たり 100名程度 日本1校当たり 150名程度	780
	(2) AEFAフォーラムの開催	2007.10.27	日本財団 会議室	10名	教育関係者 50名	